
日本経済展望

2018年5月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆トピックス	p. 7
◆見通し	
経済	p. 8
物価、金融政策、金利	p. 9
◆内外市場データ	p. 10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	安井 洋輔	（ Tel: 03-6833-6334 Mail: yasui.yosuke@jri.co.jp ）
ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	（ Tel: 03-6833-6096 Mail: murase.takuto@jri.co.jp ）
外需	成瀬 道紀	（ Tel: 03-6833-8388 Mail: naruse.michinori@jri.co.jp ）
企業部門	菊地 秀朗	（ Tel: 03-6833-6228 Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp ）
家計部門、雇用賃金	佐藤 貴憲	（ Tel: 03-6833-1694 Mail: sato.takanori@jri.co.jp ）
トピックス	安井 洋輔	
金利	石田 宏一	（ Tel: 03-6833-2806 Mail: ishida.koichi@jri.co.jp ）
ファンダメンタルズ（現状分析）	浅野 洋介	（ Tel: 03-6833-6947 Mail: asano.tP31756@jri.co.jp ）

本資料は2018年4月27日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

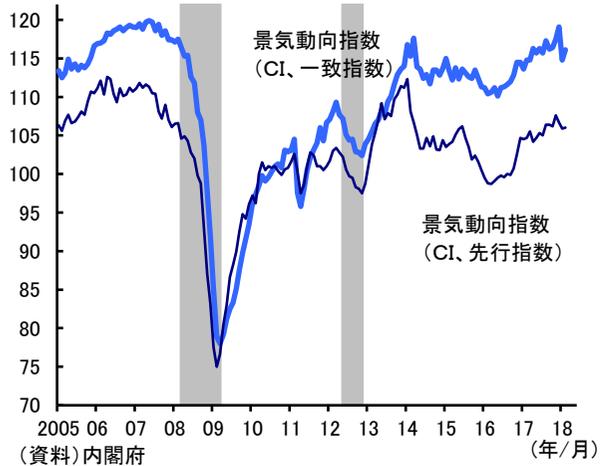
本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

概況：景気は回復が持続

景気

一致指数は、生産と出荷の改善により、前月の落ち込みから小幅上昇

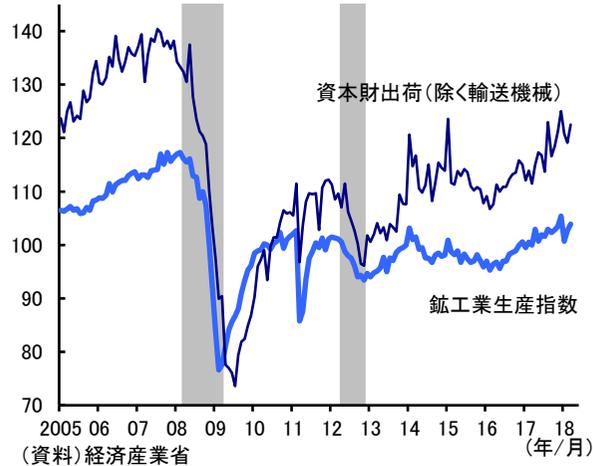
(2010年=100)



企業

生産は2カ月連続の増加
資本財出荷は3カ月ぶりの増加

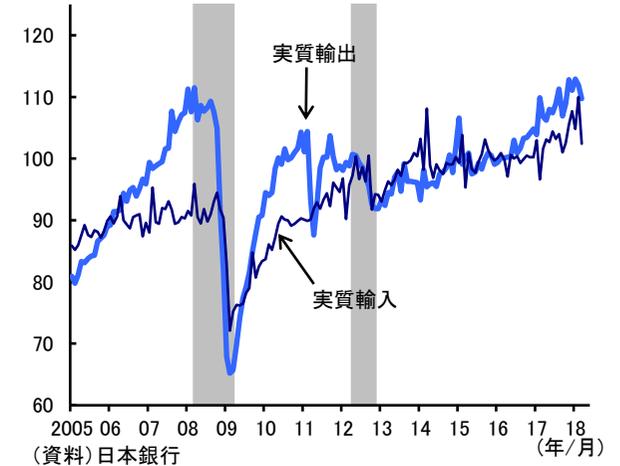
(2010年=100)



外需

輸出は米国やEU向けで減少
輸入は春節の影響から大幅に減少

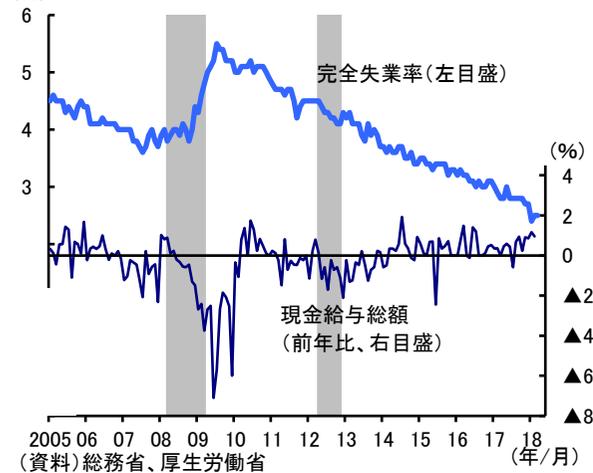
(2015年=100)



雇用所得

失業率は低水準で推移
名目賃金は小幅プラス圏で推移

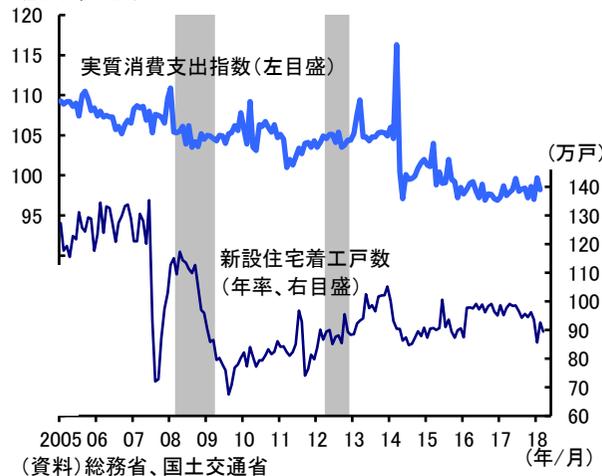
(%)



家計

実質消費は一進一退の動き
住宅着工は貸家を中心に弱含み

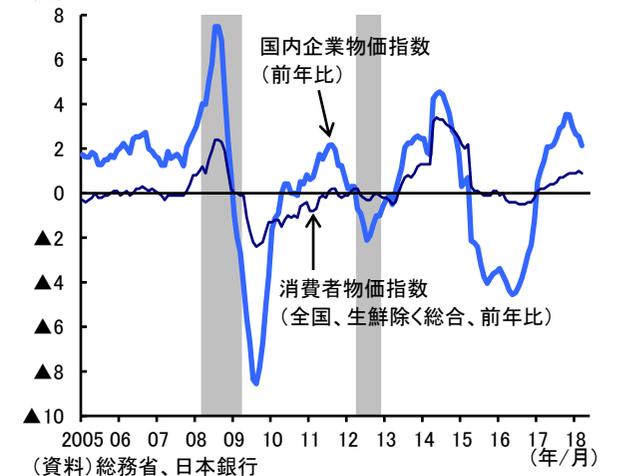
(2015年=100)



物価

原油価格の上昇一服や円高により、企業物価、消費者物価ともに伸びが縮小

(%)



※シャドー部は景気後退期

企業部門では生産が足踏み

◆企業活動に頭打ち感

2月の全産業活動指数は前月比+0.4%と2ヵ月ぶりに上昇。建設業活動指数がやや低下し、第3次活動指数が横ばいとなったものの、鉱工業生産指数の改善が全体を押し上げ。もっとも、3ヵ月移動平均値でみると、やや頭打ち感がみられる状況。

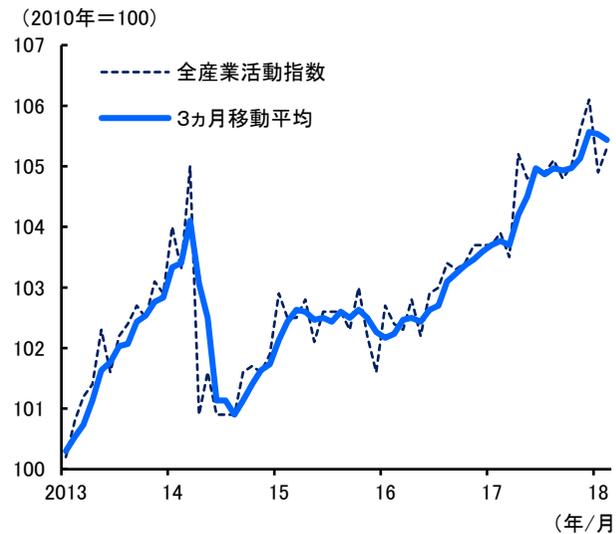
◆鉱工業生産が足踏み

3月の鉱工業生産指数は、前月比+1.2%と2ヵ月連続で上昇。半導体製造装置や電子部品、自動車など、幅広い分野で上昇。もっとも、1月の大幅減少前の水準は回復できず、1～3月期では前期比▲1.4%と8四半期ぶりのマイナス。4月の生産予測指数は前月比+3.1%の上昇、5月は同▲1.6%の低下が見込まれているものの、今後下方修正される可能性が高いことを勘案すると、2018年入り後の鉱工業生産は足踏み状態にあると判断。

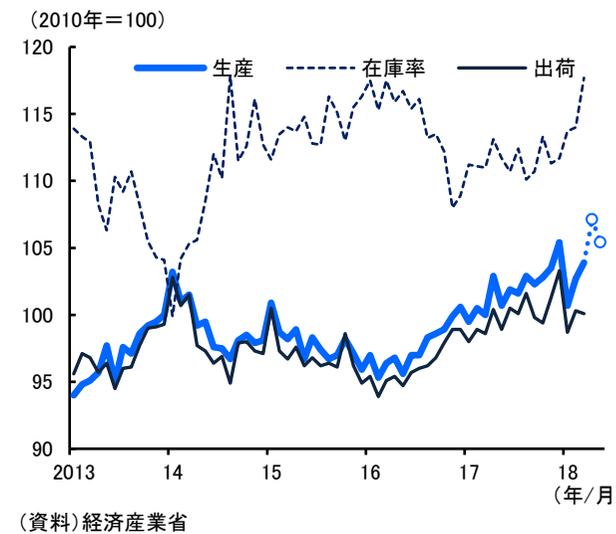
◆家計部門は持ち直し

2月の消費総合指数は前月比0.5%の上昇。1～2月の寒波や大雪、2月初旬の株価の急落に伴う消費マインドの悪化などが、下押しに作用したものの、雇用・所得環境の改善に支えられて、個人消費には底堅さ。先行きは、例年を上回る春闘賃上げ率で所定内給与の増加が期待できるほか、株価の持ち直しで逆資産効果も薄れるため、個人消費は緩やかな回復傾向が続く見込み。

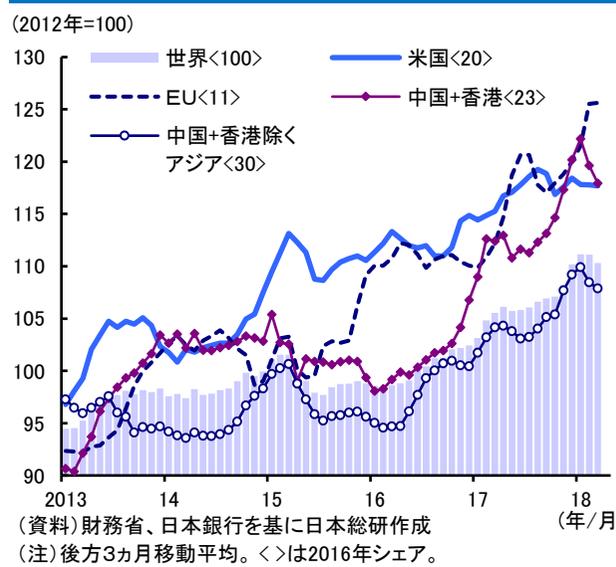
全産業活動指数



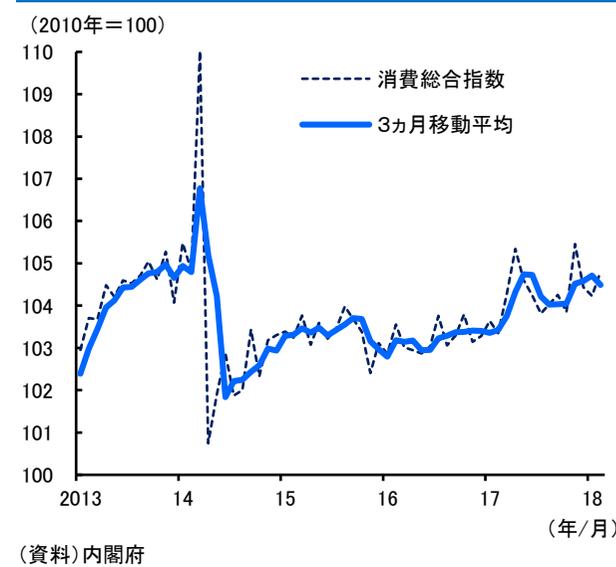
鉱工業指数



実質輸出



消費総合指数(実質)



輸出は緩やかに増加

◆輸出は緩やかに増加

輸出はこのところ弱含み。世界的なIT需要の拡大が続いているものの、iPhoneXの売上不振に加え、アジア新興国における内製化が進んだ結果、わが国からの電子部品・デバイス類の輸出が頭打ち。加えて、米国での自動車販売が全体的に弱含むなか、輸送機械輸出の増勢も鈍化。

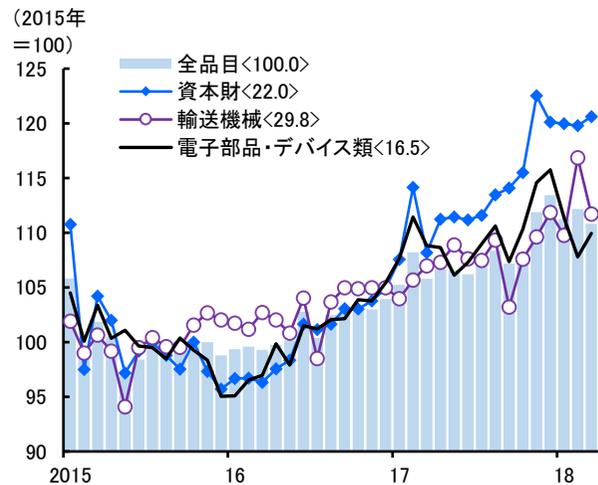
もっとも、輸出の増加基調は崩れていないと判断。中国が底堅い成長を維持しているほか、米国も減税や財政支出拡大により成長率は高まる方向。世界的な設備投資需要の持ち直しを背景に、半導体製造装置や産業用ロボットなど資本財輸出も増勢が続く見通し。

◆米国の通商保護主義が懸念

ただし、輸出を取り巻く環境には懸念材料も。米国トランプ政権は通商政策スタンスが保護主義に傾斜。貿易摩擦の強まりが世界的な貿易の停滞と、それに伴う設備投資の減少を招けば、資本財を中心としたわが国輸出を減少させる可能性も。

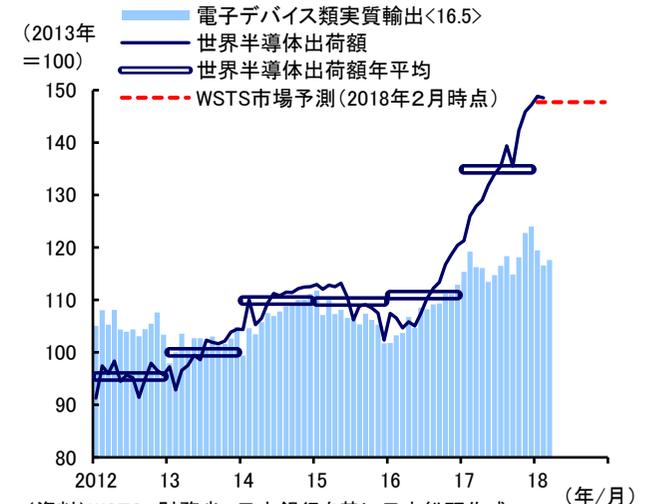
なお、鉄鋼・アルミ製品への関税引き上げについては、①同品目の米国向け輸出のウェイトが小さいこと、②わが国が輸出する高付加価値品の代替が容易でないこと、等から、直接的影響は軽微となる公算大。

品目別の実質輸出



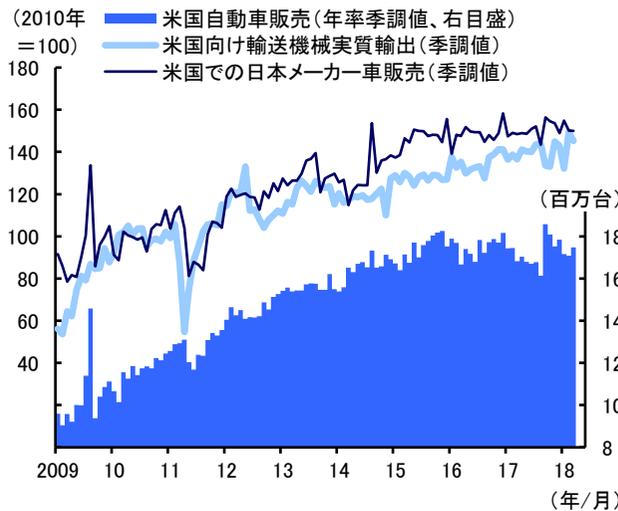
(資料)財務省を基に日本総研作成 (注)◇内は、2017年名目輸出全体に占めるシェア。

世界半導体出荷額と電子部品デバイス類輸出



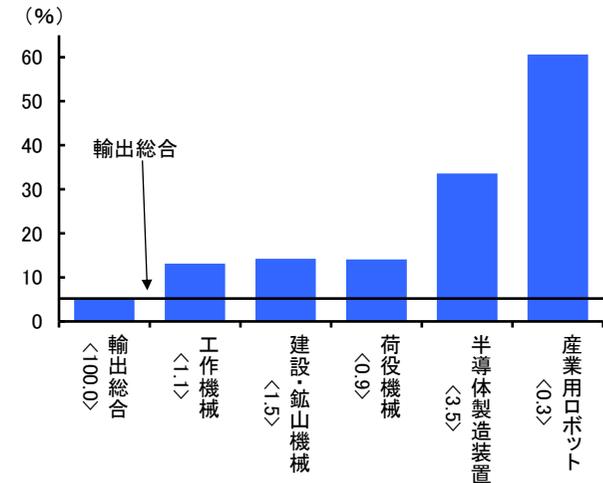
(資料)WSTS、財務省、日本銀行を基に日本総研作成 (注)◇内は、2017年名目輸出全体に占めるシェア。

米国自動車販売と米国向け輸送機械輸出



(資料)財務省、日本銀行、Autodataを基に日本総研作成

主な資本財の輸出数量 (2017年、前年比)



(資料)財務省を基に日本総研作成 (注)◇内は、2017年名目輸出全体に占めるシェア。

企業収益が底堅く推移するなか、設備投資は増加基調

◆企業収益は堅調

企業収益は堅調が持続。人手不足の深刻化や原材料価格の上昇を受け、人件費や変動費が増加しているものの、既往の事業再編等を受けて、労働分配率や売上高変動費比率が引き続き歴史的低水準にとどまるもと、売上高経常利益率は高水準を維持。製造業日経PMIをみると、新規輸出受注は昨年後半の大幅上昇の反動などから低下したものの、生産や雇用の改善を受け4月は上昇するなど、企業の景況感はおおむね堅調を維持。

先行きも、人件費の増加や円高に伴う海外からの配当の目減り等から、大幅な増益は見込みにくいものの、想定為替レートを大きく超える円高の進行がない限り、内外需要が堅調に拡大するなか、収益は底堅く推移する見通し。

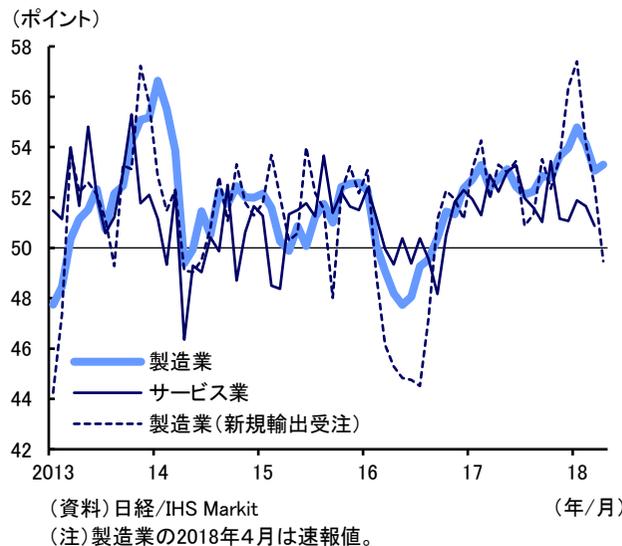
◆設備投資は増加基調

設備投資は、キャッシュフローが潤沢ななか、人手不足を背景とした合理化・省力化投資などを中心に増加基調。

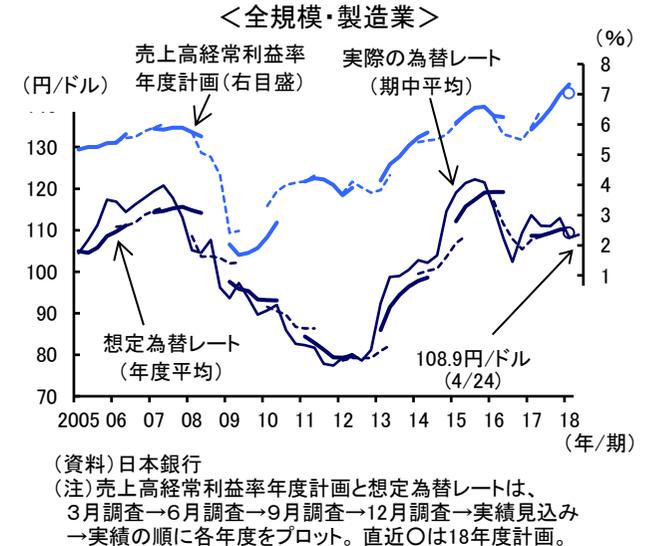
日銀短観において、中小企業・製造業の2018年度の設備投資計画が、前年度比▲0.1%と期初としては高めの計画となるなど、先行きも設備投資は増加基調が続く見通し。

もともと、米中貿易摩擦の激化や、それを受けた円高の一段の進行などで、収益の先行きに対する不安が強まれば、設備投資意欲が減衰するリスクも。

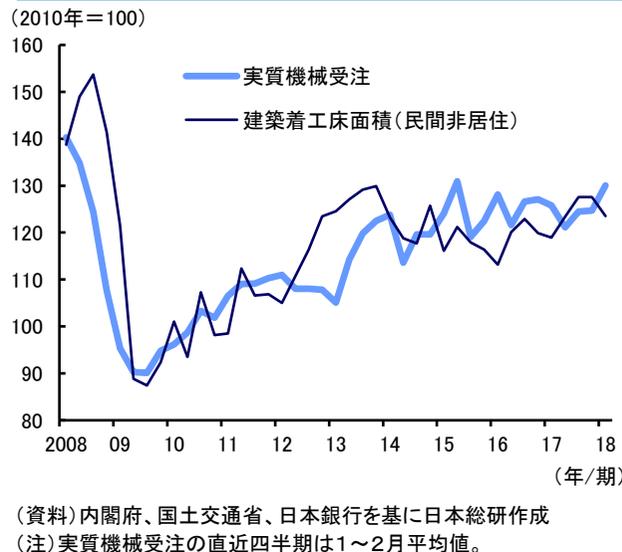
製造業・サービス業PMI



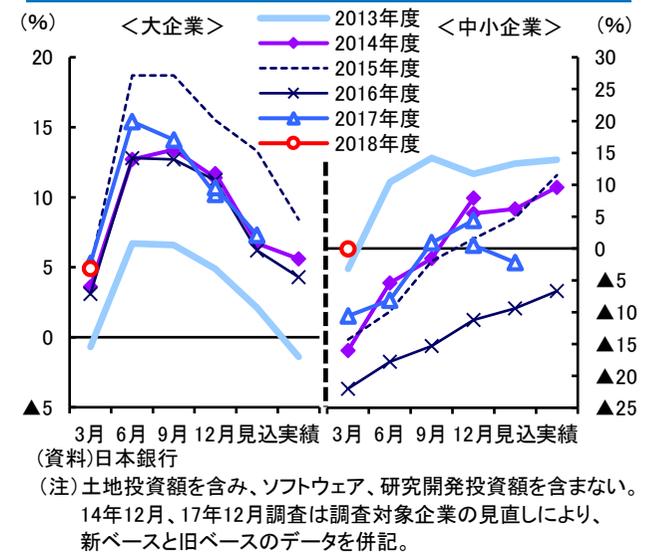
売上高経常利益率計画と想定為替レート



設備投資先行指標(季調値)



設備投資額の足取り(製造業、前年度比)



所得は緩やかに回復

◆改善続く雇用情勢

雇用情勢は改善が持続。就業者数はアベノミクス開始以降増加が続いているものの、2015年半ば以降は正規雇用者の増加基調が定着。2017年には人手不足の深刻化を背景に、雇用拡大の大半を正規雇用者が占めるようになり、雇用は数だけでなく質の面でも改善傾向。

賃金も、フルタイム労働者を中心に、所定内給与の増加基調が定着。人手不足が深刻化している運輸・郵便や卸売・小売の所定内給与が伸びており、賃上げによって労働力を確保しようとする動きが看取可能。

◆実質所得の回復は緩慢

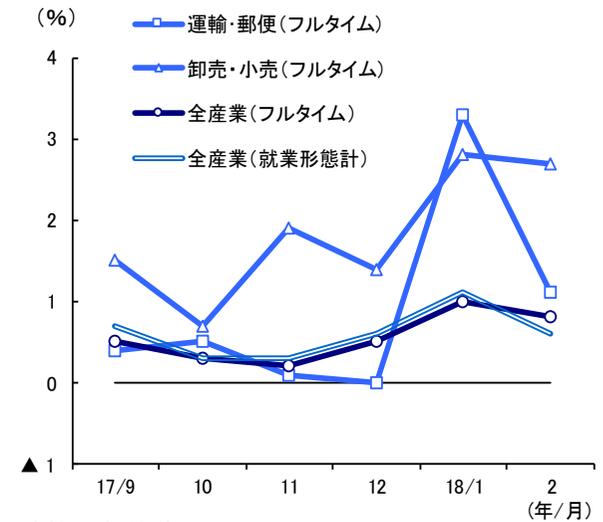
先行きを展望すると、景気回復を受けて雇用情勢の改善が続く見込み。人手不足と企業収益の改善を背景に、企業による正規雇用の拡大が進むほか、2018年度の春闘賃上げ率も過去2年を上回るなど、所定内給与の増勢も高まる方向。

もっとも、企業の人件費抑制姿勢が根強いなか、賃金上昇率は、政府が目指す3%には届かない企業が大半。一方で消費者物価上昇率の高まりもあるため、実質所得は引き続き緩やかな回復にとどまる見込み。

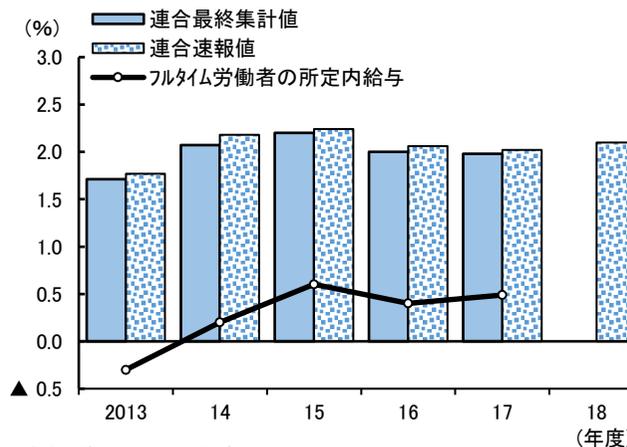
就業者数(前年差)



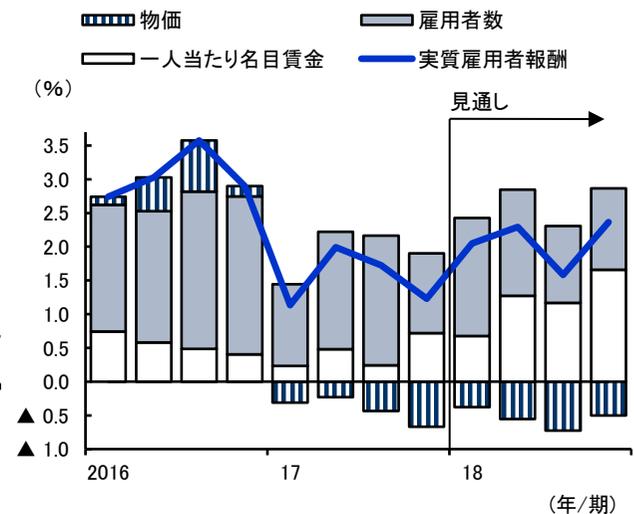
所定内給与(前年比)



春闘賃上げ率と賃金上昇率



雇用者報酬(前年比)



(資料)連合、厚生労働省
(注1)速報値は4月19日集計値。2017年以前は同時期の調査結果。
(注2)2017年度の所定内給与は2017年4月～2018年2月の前年比。

(資料)内閣府などを基に日本総研作成

個人消費は持ち直しの動き

◆個人消費は持ち直しの動き

個人消費は、緩やかに持ち直し。1～2月の消費活動指数は、寒波や大雪の影響で、耐久財、非耐久財、サービスともに低下。また、新車効果が一巡し、自動車販売も伸びが一服。

もっとも、3月は天候に恵まれ、行楽需要が増加。外食では、客単価、客足ともに前年比伸び率が拡大。好調なインバウンド需要を背景に、百貨店の売上も前年比プラスに転換。

◆個人消費は緩やかな回復継続

先行きを展望すると、雇用・所得環境の改善により、緩やかな持ち直しが続く見通し。生鮮食品価格の落ち着きと株価持ち直しにより、消費者マインドの悪化も一時的な動きにとどまり、消費の腰折れは回避される見込み。

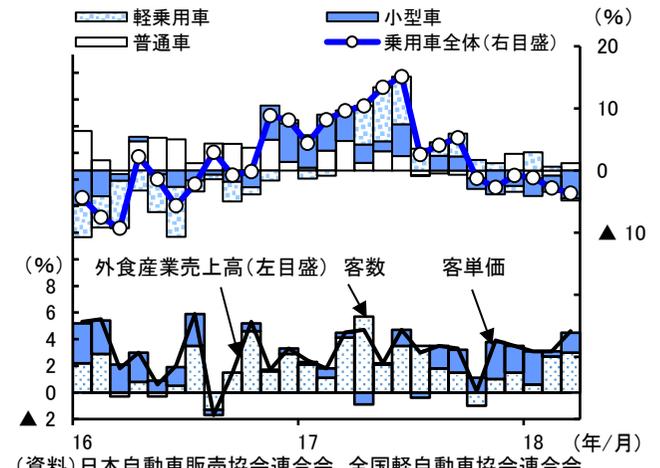
一方、住宅投資については、当面、弱含む見通し。実際、住宅ローンの新規貸出額が前年比マイナスに転換。住宅投資を下支えしてきた低金利は依然として続いているものの、貸家では、サブリース契約の問題化や、空室率の上昇にみられる供給過剰懸念などを背景に、停滞色の濃い展開。

消費活動指数



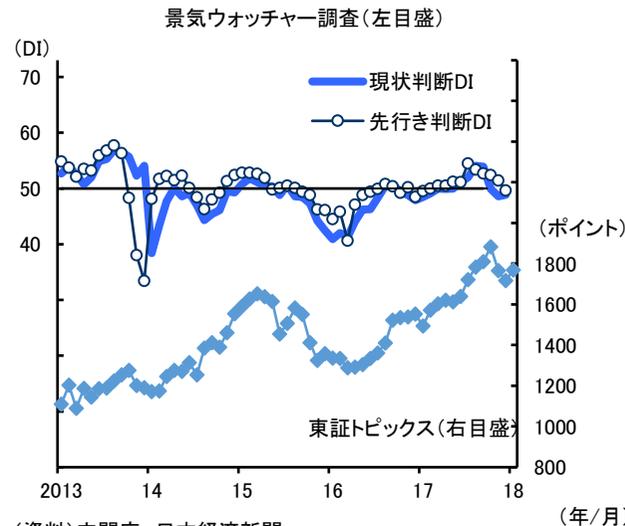
(資料) 日本銀行
(注1) 市場取引される家計支出の集計。帰属家賃は含まない。
(注2) 外国人のインバウンド消費を含む。

乗用車販売と外食産業売上高(前年比)



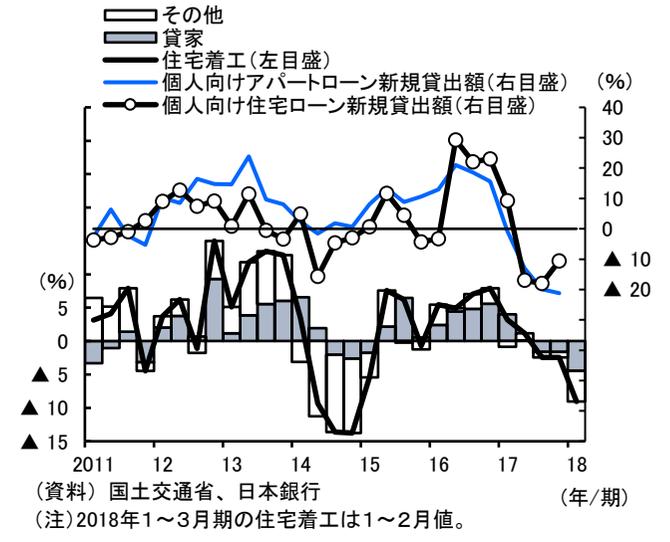
(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本フードサービス協会を基に日本総研作成
(注) 棒グラフは変化の内訳。

景気ウォッチャー調査と株価



(資料) 内閣府、日本経済新聞

住宅着工件数と個人向け住宅ローン(前年比)



(資料) 国土交通省、日本銀行
(注) 2018年1～3月期の住宅着工は1～2月値。

トピックス：働くシニアが押し上げる消費市場

◆働くシニアの消費市場が拡大

65～69歳の就業率が上昇傾向。勤労世帯は無職世帯よりも消費支出額が多いため、消費市場を拡大させる要因に。以下の分野を中心に、過去5年間で消費需要を5,000億円押し上げた試算可能。

第1に、趣味や家族・友人との交流に関する消費。勤労シニア世帯は、無職シニア世帯に比べ、こづかいは月6,800円程度、子や孫への贈り物などを含む交際費は月3,500円程度多い水準。

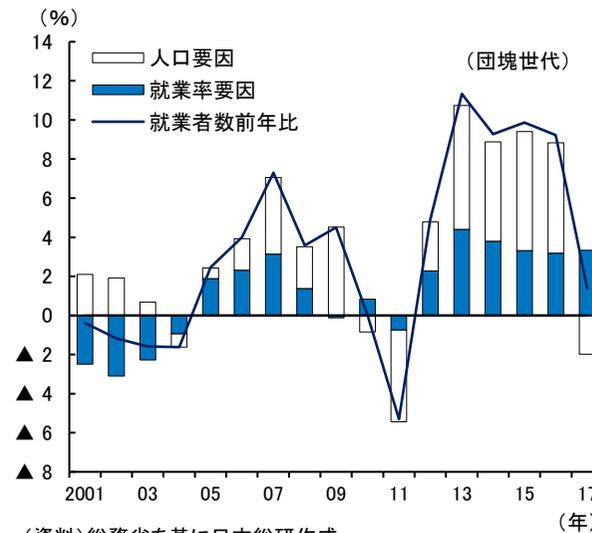
第2に、仕事関連の消費。スーツや革靴などの被服・履物は月2,900円程度、外食は月1,800円程度、交通費も月1,200円程度多く、加えて、家事の手間を軽減するための調理食品への支出も月900円程度多い水準。

一方、時間消費型支出はむしろ減少。パック旅行費や宿泊料など旅行関連の支出は月1,400円程度少ない水準。働くシニアは余裕資金があるものの、長期休暇の取りにくさなどで余暇消費の機会を喪失している可能性。

◆消費押し上げ効果は減衰

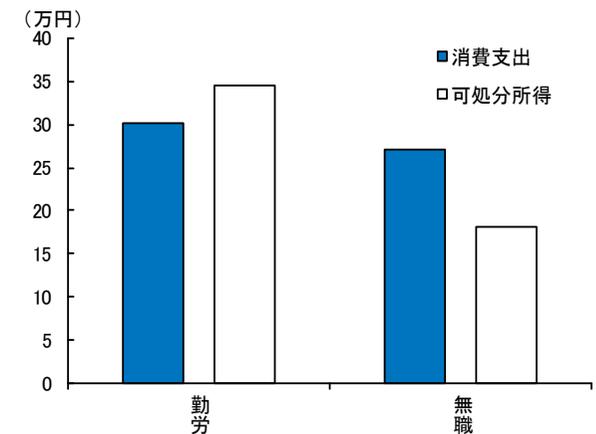
もともと、過去5年間の消費押し上げは団塊世代による人口増加効果も一因。今後を展望すると、就業率の上昇は続くものの、65～69歳人口が減少するため、同年齢層の就業者数の増加ペースは鈍化。このため、働くシニアによる消費拡大効果も減衰する見通し。

65～69歳の就業者数（前年比）



(資料)総務省を基に日本総研作成

シニア世帯の可処分所得と消費支出



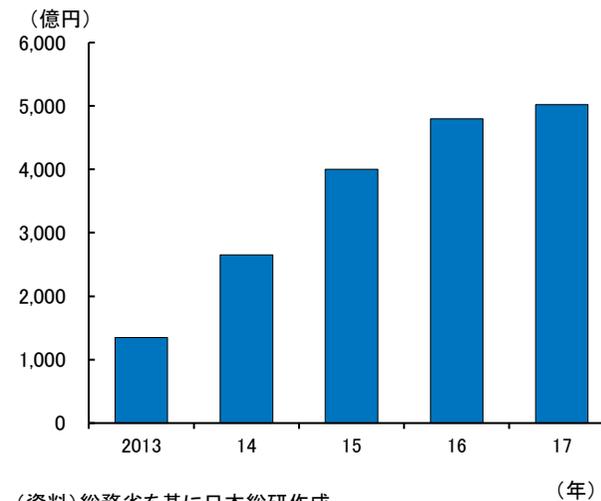
(資料)総務省を基に日本総研作成

(注1)二人以上の世帯で世帯主が65～69歳の世帯。

(注2)2013～2017年の平均値。1カ月あたり。

(注3)2013～2014年のみ、無職世帯は世帯主が60～69歳の世帯。

シニアの就業増加による消費拡大効果（試算）

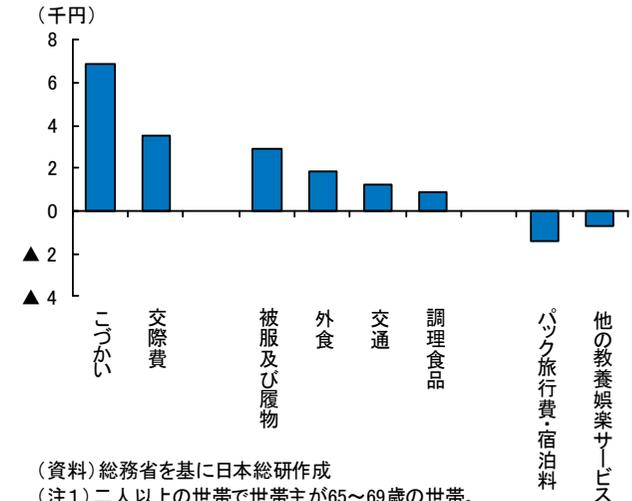


(資料)総務省を基に日本総研作成

(注1)世帯主が65～69歳の世帯の消費支出額を基に算出。

(注2)2012年を基準とした累積増加額。

シニアの勤労世帯と無職世帯の消費支出の差



(資料)総務省を基に日本総研作成

(注1)二人以上の世帯で世帯主が65～69歳の世帯。

(注2)2013～2017年の平均値。1カ月あたり。

(注3)2013～2014年のみ、無職世帯は世帯主が60～69歳の世帯。

底堅い内外需を背景に、景気回復が続く見通し

◆潜在成長率を上回る成長が持続

先行きを展望すると、本年入り後の円高進行、株価下落などを背景に、成長ペースは一時的に下振れる見込み。

もともと、輸出は、海外経済の堅調な成長に支えられ、増加基調が持続。設備投資も、都市部の再開発など国内の建設投資が底堅く推移するとみられるほか、輸出の増加が製造業の設備投資意欲の改善に作用。このため、企業部門は堅調が続く見込み。

一方、家計部門についてみると、株式市場の調整を背景に、資産効果による一段の消費増加は期待しにくいものの、非正規雇用比率の上昇一服や中小企業の賃上げなどを背景に、中低所得者の所得環境が改善しており、個人消費が腰折れする可能性は小。

結果として、2017年度、2018年度は、1%程度とみられる潜在成長率を上回る成長が続く見通し。

◆2019年度も1%近い成長を維持

2019年度は、10月に予定されている消費増税に伴う購買力の低下が個人消費を下押しすることで、成長率が鈍化。もともと、今回は2014年と比べて税率の引き上げ幅が小さいほか、所得税・社会保障関連の負担増も小さいことから、個人消費の大幅な落ち込みは回避される見通し。結果として、1%近い成長は維持できる見込み。

わが国主要経済指標の予測値(2018年4月27日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2017年		2018年				2019年				2020年	2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度													
	(実績)	(実績)	(予測)	(予測)	(予測)	(予測)	(予測)	(予測)	(予測)	(予測)	(予測)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)												
実質GDP	2.4	1.6	0.7	1.2	1.2	1.0	1.3	1.4	2.5	▲ 3.6	1.3	1.2	1.8	1.2	0.9	1.2	1.8	1.2	0.9	1.2	1.8	1.2	0.9	1.2	1.8	1.2	0.9	
個人消費	▲ 2.6	2.1	0.5	0.9	1.0	1.0	1.1	1.6	5.2	▲ 9.1	1.3	0.3	1.1	0.8	0.6	0.3	1.1	0.8	0.6	0.3	1.1	0.8	0.6	0.3	1.1	0.8	0.6	
住宅投資	▲ 6.6	▲ 10.1	▲ 7.2	▲ 2.4	0.7	3.2	6.5	1.9	▲ 3.1	▲ 9.8	▲ 7.2	6.2	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 0.2	6.2	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 0.2	6.2	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 0.2	6.2	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 0.2	
設備投資	4.2	4.2	1.7	2.4	2.7	2.7	2.6	2.4	2.4	2.3	2.3	1.2	3.5	2.7	2.5	1.2	3.5	2.7	2.5	1.2	3.5	2.7	2.5	1.2	3.5	2.7	2.5	
在庫投資 (寄与度)	(1.7)	(0.3)	(▲ 0.4)	(▲ 0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(▲ 0.1)	(▲ 0.5)	(0.3)	(0.3)	(▲ 0.3)	(0.1)	(0.0)	(▲ 0.1)	(▲ 0.3)	(0.1)	(0.0)	(▲ 0.1)	(▲ 0.3)	(0.1)	(0.0)	(▲ 0.1)	(▲ 0.3)	(0.1)	(0.0)	(▲ 0.1)	
政府消費	0.2	▲ 0.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.4	0.6	0.8	0.5	0.4	0.6	0.8	0.5	0.4	0.6	0.8	0.5	0.4	0.6	0.8	
公共投資	▲ 9.8	▲ 0.8	▲ 4.1	6.0	2.0	▲ 6.9	▲ 3.1	0.0	1.2	0.5	0.3	0.9	1.3	▲ 0.7	▲ 0.9	0.9	1.3	▲ 0.7	▲ 0.9	0.9	1.3	▲ 0.7	▲ 0.9	0.9	1.3	▲ 0.7	▲ 0.9	
純輸出 (寄与度)	(2.2)	(▲ 0.1)	(0.9)	(0.2)	(0.0)	(0.2)	(0.1)	(0.0)	(▲ 0.4)	(1.1)	(0.0)	(0.8)	(0.4)	(0.4)	(0.1)	(0.8)	(0.4)	(0.4)	(0.1)	(0.8)	(0.4)	(0.4)	(0.1)	(0.8)	(0.4)	(0.4)	(0.1)	
輸出	8.8	10.1	1.4	3.1	3.3	3.5	3.5	3.3	3.2	2.8	2.8	3.4	6.4	4.0	3.2	3.4	6.4	4.0	3.2	3.4	6.4	4.0	3.2	3.4	6.4	4.0	3.2	
輸入	▲ 4.7	12.0	▲ 3.5	2.2	3.3	2.7	3.0	3.2	5.4	▲ 3.3	2.9	▲ 1.0	3.9	2.1	2.6	▲ 1.0	3.9	2.1	2.6	▲ 1.0	3.9	2.1	2.6	▲ 1.0	3.9	2.1	2.6	
名目GDP	2.1	2.1	1.9	1.5	1.4	1.5	2.2	2.0	2.4	1.6	1.7	1.0	1.8	1.7	1.9	1.0	1.8	1.7	1.9	1.0	1.8	1.7	1.9	1.0	1.8	1.7	1.9	
GDPデフレーター	0.2	0.1	0.1	▲ 0.0	0.2	0.5	1.0	0.7	0.8	1.3	1.3	▲ 0.2	0.0	0.4	1.0	▲ 0.2	0.0	0.4	1.0	▲ 0.2	0.0	0.4	1.0	▲ 0.2	0.0	0.4	1.0	
消費者物価指数 (除く生鮮)	0.6	0.9	0.8	0.9	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8	2.0	2.1	▲ 0.2	0.7	0.9	1.4	▲ 0.2	0.7	0.9	1.4	▲ 0.2	0.7	0.9	1.4	▲ 0.2	0.7	0.9	1.4	
(除く生鮮、消費税)	0.6	0.9	0.8	0.9	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8	1.0	1.1	▲ 0.2	0.7	0.9	0.9	▲ 0.2	0.7	0.9	0.9	▲ 0.2	0.7	0.9	0.9	▲ 0.2	0.7	0.9	0.9	
鉱工業生産	3.9	4.6	2.2	2.6	1.6	0.7	1.8	0.3	0.6	0.7	0.5	1.1	4.1	1.7	0.6	1.1	4.1	1.7	0.6	1.1	4.1	1.7	0.6	1.1	4.1	1.7	0.6	
完全失業率 (%)	2.8	2.7	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	3.0	2.7	2.5	2.4	3.0	2.7	2.5	2.4	3.0	2.7	2.5	2.4	3.0	2.7	2.5	2.4	
経常収支 (兆円)	7.01	4.33	5.71	4.41	7.03	4.00	6.77	4.58	7.05	3.96	6.93	21.02	21.64	22.21	22.52	21.02	21.64	22.21	22.52	21.02	21.64	22.21	22.52	21.02	21.64	22.21	22.52	
対名目GDP比 (%)	5.2	3.0	4.2	3.2	5.2	2.8	4.8	3.3	5.1	2.7	4.9	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	4.0	
円ドル相場 (円/ドル)	111	113	108	109	109	110	111	111	110	110	109	108	111	110	110	108	111	110	110	109	108	111	110	110	108	111	110	110
原油輸入価格 (ドル/バレル)	50	58	67	67	63	63	63	63	63	63	63	47	57	64	63	47	57	64	63	47	57	64	63	47	57	64	63	

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを
基に日本総研作成

(注)2018年4月27日公表の2018年1~3月期1次
QE予測は反映せず。

海外経済の前提

(前年比、%)

	2017年	2018年	2019年
	(実績)	(予測)	(予測)
米国	2.3	2.8	2.5
ユーロ圏	2.5	2.2	1.7
中国	6.9	6.8	6.7

過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2017年度	2018年度	2019年度
	(実績)	(実績)	(予測)
2月号	1.8	1.2	0.9
3月号	1.6	1.2	0.9
4月号	1.8	1.2	0.9

物価は前年比+1%近傍、長期金利はゼロ%近辺で推移

◆物価は横ばい圏内の動き

コアCPI上昇率は、2017年1月に前年比プラスに転じた後、ジリ高傾向が続いていたものの、エネルギー価格の騰勢鈍化を背景に、足許横ばい圏内の動き。先行きは、雇用・所得環境の改善により、需給面からの上昇圧力は強まるものの、エネルギー価格の騰勢鈍化が響き、コアCPIは日銀の目標を下回る状況が続く見込み。

◆短期金利は現行水準を維持

日銀は、2018年4月の金融政策決定会合で、現状の金融政策の維持を決定。10年物国債金利をゼロ%程度とする現行政策のもとで、影響・効果を見極める姿勢を継続。

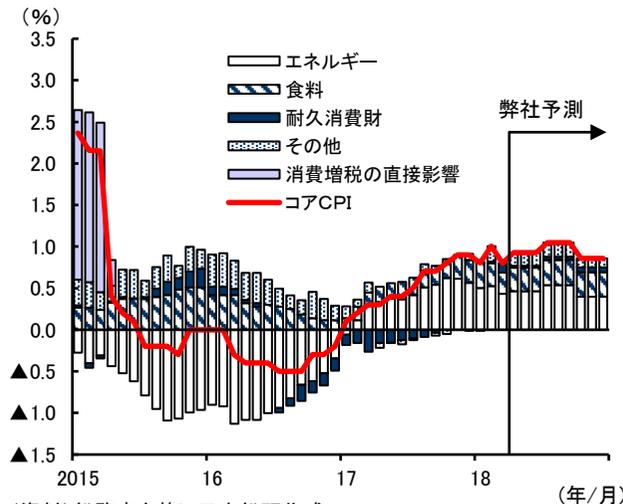
政策金利については、当面、現行水準(▲0.1%)を維持する見込み。為替の過度な円高が進まない限り、当面は量的質的金融緩和の枠組みが維持されることに。

◆長期金利は概ねゼロ%程度で推移

長期金利は、米中貿易摩擦への懸念から、安全資産である国債への需要が増加し、金利低下圧力が幾分高まったものの、基調としては概ね横ばい圏内で推移。

先行きは、米国長期金利の上昇に伴い上振れ圧力が高まるものの、日銀のイールドカーブ・コントロール政策のもと、0%近辺での推移が続く見通し。

コアCPI(前年比)



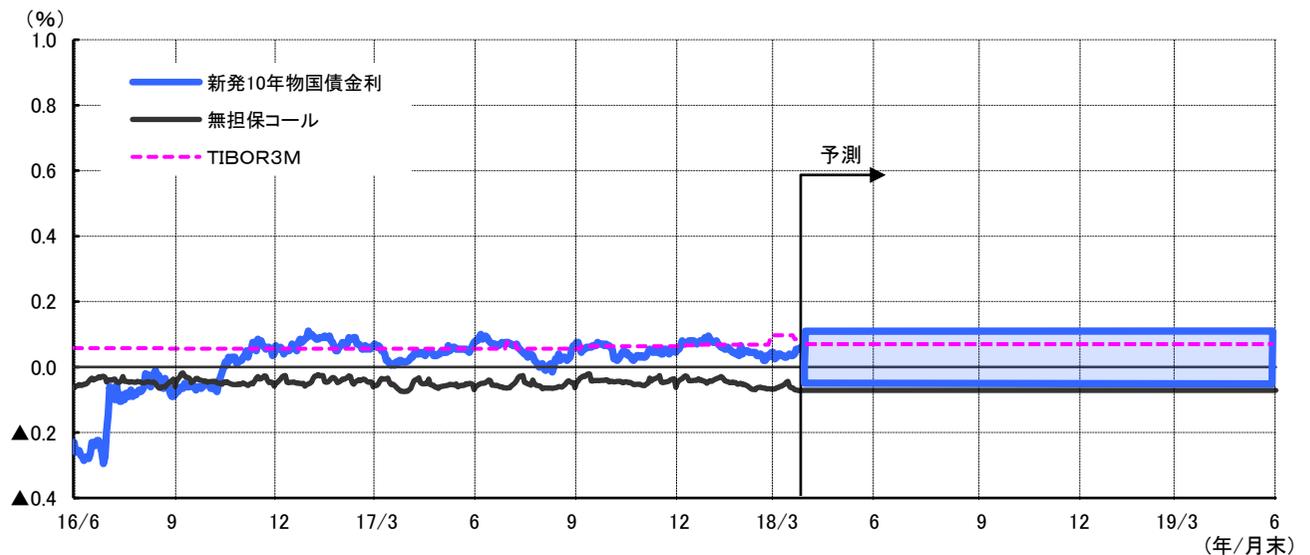
(資料)総務省を基に日本総研作成
(注)エネルギー、食料、耐久消費財などは消費税の影響を除く。

日銀の景気・物価見通し(前年度比)

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)
2018年度	+1.4~+1.7 <+1.6>	+1.2~+1.3 <+1.3>
1月時点	+1.3~+1.5 <+1.4>	+1.3~+1.6 <+1.4>
2019年度	+0.7~+0.9 <+0.8>	+1.5~+1.8 <+1.8>
1月時点	+0.7~+0.9 <+0.7>	+1.5~+2.0 <+1.8>
2020年度	+0.6~+1.0 <+0.8>	+1.5~+1.8 <+1.8>

(資料)日本銀行
(注1)<>内は中央値。
(注2)2019、2020年度の消費者物価は、消費税率引き上げの影響を除く。

わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利			ユーロ円 (TIBOR)			円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/ユーロ (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)			
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02			
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00			
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88			
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79			
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.12	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64			
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45			
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.12	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35			
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26			
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16			
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58			
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83			
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76			
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67			
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.12	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68			
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55			
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55			
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60			
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51			
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23			
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.97	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22			
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18			
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16			
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01			
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09			
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07			
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05			
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04			
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24			
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29			
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35			
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32			
17/3	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.10	0.26	▲ 0.26	0.07	1.48	0.95	112.92	120.67	19340.18	1552.10	0.79	1.13	2.48	20823.06	▲ 0.33	0.39			
17/4	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.07	0.23	▲ 0.21	0.03	1.48	0.95	110.04	117.93	18736.39	1494.81	0.90	1.16	2.29	20684.69	▲ 0.33	0.25			
17/5	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.08	0.24	▲ 0.17	0.04	1.48	0.95	112.24	124.09	19726.76	1571.62	0.91	1.19	2.30	20936.81	▲ 0.33	0.38			
17/6	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.10	0.24	▲ 0.12	0.06	1.48	0.95	110.97	124.70	20045.63	1603.77	1.04	1.26	2.18	21317.80	▲ 0.33	0.29			
17/7	▲ 0.05	0.06	0.10	0.05	0.12	0.27	▲ 0.11	0.08	1.48	0.99	112.38	129.59	20044.86	1620.17	1.15	1.31	2.31	21581.25	▲ 0.33	0.54			
17/8	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	109.84	129.81	19670.17	1612.95	1.16	1.31	2.20	21914.08	▲ 0.33	0.42			
17/9	▲ 0.06	0.06	0.10	0.02	0.08	0.22	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	110.81	131.93	19924.40	1638.79	1.15	1.32	2.20	22173.41	▲ 0.33	0.41			
17/10	▲ 0.04	0.06	0.09	0.04	0.11	0.26	▲ 0.14	0.07	1.48	1.00	112.93	132.75	21267.49	1721.72	1.15	1.36	2.36	23036.24	▲ 0.33	0.43			
17/11	▲ 0.05	0.06	0.09	0.03	0.10	0.25	▲ 0.18	0.04	1.48	1.00	112.82	132.48	22525.15	1783.26	1.16	1.43	2.35	23557.93	▲ 0.33	0.36			
17/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	112.93	133.68	22769.89	1809.61	1.30	1.60	2.41	24545.98	▲ 0.33	0.35			
18/1	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.28	▲ 0.13	0.08	1.48	1.00	110.97	135.28	23712.21	1882.57	1.41	1.73	2.57	25804.02	▲ 0.33	0.55			
18/2	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.29	▲ 0.15	0.07	1.48	1.00	107.86	133.14	21991.68	1766.57	1.42	1.87	2.86	24981.55	▲ 0.33	0.72			
18/3	▲ 0.06	0.07	0.12	0.05	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	106.10	130.87	21395.51	1716.27	1.51	2.17	2.84	24582.17	▲ 0.33	0.59			